ファシリテーターのためのスーパービジョン

主催：長野ゲシュタルト研究会
URL：http://naganogestalt.naganoblog.jp/

課題を解決しようとするクライアントには様々なことが起こり、ファシリテーターの課題も刺激します。ファシリテーターとしてクライアントの前に存在する時、スキルだけでなく自身の課題が浮き彫りになるのは当然と言えば当然。

ワークを進めるスキルだけでなく、ファシリテーターとして、自分の課題とも向き合いながら、切磋琢磨していきましょう。

今回はゲシュタルト療法の百武正嗣氏に加え、家族とAC研究所の明石郁生氏（臨床心理士）を迎え、さまざまな理論的視点からもスーパーバイズを受けようという試みです。

自身の課題が表出したら、その場でファシリテーターがクライアントになって、スーパーバイザーによるワークを行うかもしれません。

スーパービジョンのその場で何が起こるのか…　　互いを認め、磨きあう場です。

日時	**2月1日（月）10:00～17:00**
会場	**長野市内（詳細は参加者にご連絡します）**
参加費	10,000円
参加条件	**（a）ファシリテーター、またはワーカー（実際は当日のじゃんけんで決定）** **ゲシュタルト療法トレーニングコース中に　CFOを体験して修了し、実際にファシリテーションした経験のある者** **（b）見学** **ゲシュタルト療法トレーニングコースに参加または、申込している者** **長野ゲシュタルト研究会会員または明石さんの　紹介のある者**

申込は公式ブログのお問い合わせから　http://naganogestalt.naganoblog.jp/

スーパーバイザー

百武正嗣

日本ゲシュタルト療法学会理事長
ＧＮＪ理事長
カリフォルニア州立大学大学院心理学部卒

ゲシュタルト・フェルデンクライスメソッド・ヨーガ・心理学を取り入れた「気づきのセミナー」を各地で開催。
【著書】
『ライオンのひなたぼっこ』
『エンプティ・チェアテクニック入門』
『気づきのセラピー』
『家族連鎖のセラピー』

明石郁生

「家族とＡＣ研究室」代表
ＣＳＰＰカリフォルニア臨床心理大学院日本校　修士課程修了

自身がＡＣを自覚し、当事者研究者として回復プロセスを活かしたカウンセリングを実践。開業カウンセラーとして精神力動療法、家族療法、ナラティブセラピー、認知行動療法、ゲシュタルト療法、プロセス指向心理学、トランスパーソナル心理学等の理論基盤を統合的に用いる臨床を実践、研究